



Title	語文 第103輯 編集後記/奥付
Author(s)	
Citation	語文. 2014, 103
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/70950
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

編集後記

第百三輯をお届けいたします。

本輯は、文学の論考三本、語学の論考二本、著書紹介五本を掲載しました。いすれも読み応えのあるものです。

今年度から募集の始まつた国文学研究資料館「歴史的典籍に関する大型プロジェクト」の公募共同研究に「日本漢詩文における古典形成の研究ならびに研究環境のグローバル化に対応した日本漢文学の通史の検討」（代表者 合山林太郎先生）が見事採用されましたが、巻頭論文は早速その成果を発表されたものです。文学の他二本の論考はいすれも大学院生の研究成果です。お気づきの点、ご教示ご批正のほどよろしくお願ひいたします。国語学の二本は、近年、メディアも大注目の「役割語」に関する研究です。かつて金水先生が、「将来は日本語研究論文の一割ほどが役割語研究になる日が来るようになら」と仰っていたという記憶があるのですが、本輯に関しては、十割です。次輯には役割語に関する金水先生のご近著三部作の紹介も掲載されることでしょう。

紹介は最近話題になつた大著が並びました。新稻法子先生にはお忙しいところご執筆いただき、ありがとうございました。学会員著書の紹介原稿がずらりと並ぶのは私たちにとっても非常に嬉しいことです。ご上梓の際には、是非ご一報をお願いいたします。

（飯倉洋一）

語文 第百三輯

平成二十六年十二月五日 印刷
平成二十六年四月十一日 発行

編集・
大阪大学国語国文学会

〒560-8532 大阪府豊中市待兼山町一-十五

大阪大学大学院文学研究科
日本文学・国語学研究室

代表 出原隆俊

振替口座〇〇九四〇一四一一四六一
電話 〇六一六八五〇一五一一

印 刷 亜細亜印刷株式会社